

### 1 建学の精神

英才教育の徹底	世界をも視野に入れた大学進学をめざす中高一貫教育の推進
道徳教育の徹底	個性豊かな良識ある青少年の育成
錬身教育の徹底	質実剛健にして心身共に豊かな青少年の育成

### 2 校訓

「学んで厭かず、教えて倦まず」
-----------------

### 3 教育方針・ミッション

「生徒一人一人の人格を認め、人権を尊重し、人命を守る」ことを教育実践の根底に置き、校訓に謳う「師弟同行」の教育環境のもと、学問的・人間的な豊かさを基に、グローバル・マインドを持ち、将来に渡って逞しく生きる21世紀のリーダーとなる人材を育成する。	
1 英才教育	○活用・協働・創造型授業の実践 ○主体的な学びを促す教育実践 ○課題解決力の育成
2 人間教育	○人権感覚・国際感覚の育成 ○豊かな心を育む教育活動の推進 ○学習意欲を喚起する部活動・特別活動の推進

#### 4 環境分析

##### (1) 本校を取り巻く状況と課題

<p style="text-align: center;">内部環境</p> <p style="text-align: center;">外部環境</p>	<p>強み (S)</p> <p>①確固たる信念のもと「自己実現を図る」生徒が部活動で成果をあげる土壌がある。</p> <p>②生徒が学校行事に積極的に参加する。</p> <p>③全国大会に出場する部活動を有する。</p> <p>④部活動と学業を頑張る生徒がいる。</p>	<p>弱み (W)</p> <p>①6年一貫教育の特色をさらに明確に打ち出す必要がある。</p> <p>②学習習慣の定着が課題となる生徒がいる。</p> <p>③中学校入試受験者数が伸び悩んでいる。</p> <p>④29年度入試では若干伸びを示したものの、旧帝大をはじめとする難関大学への合格者数が伸び悩んでいる。</p>
<p>機会 (O)</p> <p>①私学の男子校として一定の評価がある。</p> <p>②「面倒見の良い学校」として評価がある。</p> <p>③外国人教師の多さ、英語教育をはじめ国際理解教育の推進に特色がある。</p> <p>④ICT機器を活用した実践例の中には、県外も含め他校から関心を持たれている。</p>	<p>(推進)</p> <p>①男子校として、魅力ある教育活動を展開する。</p> <p>②地域社会や県民に、生徒の自律的行動を示す機会を設ける。</p> <p>③イングリッシュ・キャンプをはじめ、英語のコミュニケーション能力の育成、異文化理解を促す行事を推進する。</p> <p>④海外短期語学研修の内容の充実を図る。</p>	<p>(克服)</p> <p>①6年間で2年毎のスパンで「到達目標」を明確にし、系統的な学習指導の構築を図る。</p> <p>②鯉昇館のDiscoveryをはじめとするICT機器等を使用することによって、ALやCMの推進を図る。</p> <p>③教育改革に対応する新しい授業設計、探求・創造型の授業改善を全校挙げて推進する。</p>
<p>脅威 (T)</p> <p>①通学時の公共交通機関等でのマナーの悪さを指摘されることがある。</p> <p>②組織的な「生徒支援・教育相談体制」が十分に構築できていない。</p>	<p>(対策)</p> <p>①生徒会を中心とした帰属意識を高める取組を生徒を中心として推進する。</p> <p>②組織的な「教育相談体制」を構築し、具体的な相談体制・協働体制を創造する。</p>	<p>(克服)</p> <p>①外部評価委員会等を活用し、自己評価の客観性を高める取り組みを推進する。</p> <p>②カウンセラー、養護教諭、該当学年主任等で組織的な支援体制を構築する。</p>

## 5 戦略の決定

### (1) 育てたい生徒像

「グローバル・マインド」を持ち、さわやかな挨拶ができ、真剣に学びに向かい、部活動も学校行事も頑張る生徒

### (2) 目指す学校像

- ①生徒指導方針を明確にするとともに、指導の基本的な考え方を生徒、保護者に示すとともに、全教職員が統一した指導を推進する学校
- ②平成30年度から新たに導入される入試制度を視野に入れ、新しい学力観・指導観を確立し「授業改革」に取り組む学校
- ③中高一貫教育の強みを整理するなかで、中学1年生から高校3年生までの学習到達目標を各教科において具体的に取り組む学校
- ④部活動の活性化が、学習意欲をはじめとする自己実現に向けた意欲を喚起する学校
- ⑤学習意欲を喚起するICT機器を活用した授業改善を図り、キャリア教育の視点をベースに置いた学校行事を推進する学校

### (3) 基礎データ

項目		H25	H26	H27	H28	H29	備考	
進路状況	卒業生数または在籍者数	198	211	214	230			
	国公立大学合格者数	31	33	35	46			
	旧帝大合格者数	1	3	2	6			
	難関私大合格者数	7	24	7	17			
	医学科合格者数	3	1	1	0			
センター試験	出願者数	198	211	213	229			
	受験者数	198	211	213	229			
	5教科型受験者数	120	120	130	162			
進研模試 平均点偏差値 (11月)	高3	国語	50.9	51.4	50.3	51.1		
		数学	48.7	49.8	47.9	48.9		
		英語	47.8	51.9	49.8	48.7		
	高2	国語	54.2	53.8	52.9	51.5		
		数学	50.9	52.7	54.1	51.5		
		英語	56.0	53.3	53.5	54.5		
	高1	国語	53.1	53.0	54.5	53.3		
		数学	55.1	56.0	53.0	55.8		
		英語	51.4	54.4	52.6	52.2		

項目		H25	H26	H27	H28	H29	備考
学力推移調査 平均点偏差値 (第2回)	中3	国語	49.6	49.1	46.7	47.9	
		数学	47.4	51.4	50.4	50.1	
		英語	53.9	52.8	52.5	51.4	
	中2	国語	48.4	48.5	50.5	48.3	
		数学	52.5	52.5	53.8	50.5	
		英語	56.4	56.2	53.0	48.7	
	中1	国語	50.2	49.2	49.4	49.3	
		数学	54.2	53.7	52.3	53.7	
		英語	58.9	56.7	46.5	45.4	
英検取得者数(人)	準2級	高3	-	67	50	115(3)	115(3)
		高2	-	50	106	89(11)	89(11)
		高1	-	89	62	59(24)	59(24)
		中1～中3	-	52	49	77(58)	77(58)
	2級	高3	-	10	18	52(14)	52(14)
		高2	-	17	38	24(15)	24(15)
		高1	-	9	8	22(17)	22(17)
		中1～中3	-	5	3	7(6)	7(6)
	準1級	中1～高3	-	3	2	7(3)	7(3)
1日あたり2時間 以上家庭学習をす る生徒(%)	高3	51.8	47.4	53.6	47.0		
	高2	30.9	23.9	60.2	24.2		
	高1	14.5	49.1	18.9	21.5		
	中3	43.0	20.5	11.1	20.4		
	中2	25.6	35.0	26.3	16.9		
	中1	35.3	43.0	29.5	31.1		

取得累計(年度校内)

項目		H25	H26	H27	H28	H29	備考
特別指導件数	中1	4	2	5	1		
	中2	3	6	1	2		
	中3	3	4	9	2		
	高1	4	2	2	2		
	高2	0	0	0	1		
	高3	1	0	1	0		
遅刻・早退 ・欠席件数	年間遅刻者数 (のべ)		2287	2242	1994	2018	
	1日あたり遅刻葉書購入枚数		4.2	4.7	2.2	5.3	
	遅刻・早退10回以上の生徒数	中1	4	6	2	5	
		中2	10	6	4	3	
		中3	10	17	15	5	
		高1	11	7	14	15	
		高2	12	8	6	13	
		高3	-	-	10	-	
	欠席30日以上の生徒数	中1	4	7	1	3	
		中2	11	6	10	2	
		中3	11	11	10	10	
		高1	7	3	5	8	
高2		3	5	5	8		
高3		-	-	5	-		
カウンセラー相談件数 (実数)	生徒	42	中1 8	16 (5)	42 (5)		
	保護者	104	中2 10	77 (6)	17 (5)		
	教員	8	中3 6	20 (4)	50 (6)		
	その他	2	高1 15	19 (6)	12 (4)		
			高2 41	5 (2)	16 (4)		
			高3 2	11 (4)	33 (3)		

項 目		H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	備考
部活動の加入率 (%)	中1	50	57	94	79		
	中2	87	83	75	84		
	中3	84	88	81	84		
	高1	67	79	86	74		
	高2	66	70	71	85		
	高3	50	66	65	63		

## 6 学年目標

学年	目標
高3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの進路目標の実現に向けて日々努力しよう</li> <li>・広島城北健男児となって卒業しよう</li> </ul>
高2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な選択肢の中から自らの進路を見定めよう</li> </ul>
高1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の進路を見つめよう</li> <li>・学校を中心に置いた生活をしよう</li> </ul>
中3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学最高学年としての責任を果たそう</li> <li>・規則正しい家庭学習習慣を身につけよう</li> </ul>
中2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切にしよう</li> <li>・自ら考え、自ら行動しよう</li> </ul>
中1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切にしよう</li> <li>・自分からはっきりとあいさつをしよう</li> <li>・思いやりの気持ちを持とう</li> </ul>

7 目標の設定

学校経営目標						
達成目標	評価指標	実績値		目標値	担当部等	
		27年度	28年度	29年度		
1 グローバル・マインドを持ち、さわやかな挨拶ができ、真剣に学びに向かい、部活動も学校行事も頑張る生徒の育成を図る。						
基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、規範意識、自尊感情を育てる。	起床時刻が6時20分以前の生徒の割合(4点固定の生活習慣の基礎)	62%	56%	63%以上	生徒 学年	
	1日当たり遅刻者数	中 3名以内 高 3名以内	中 1.2名 高 1.3名	中 1名以内 高 1名以内		
	特別指導の件数	中 10件以内 高 2件以内	中 4件 高 3件	中 8件以内 高 0件		
世界の動きに興味・関心を向けるとともに、積極的に特別活動に参加する。	ヒロシマインターナショナルスクール交流	-	-	3回	国際	
	ゲストスピーカー講演会(中2・高1)	-	-	1回・1回		
	国際関係LHR(中1～中3)	-	-	2回ずつ		
	国際部 NEWSLETTER(情報雑誌)	-	-	5回		
	英検勉強会(3級～準1級)	-	-	3回		
	短期研修への応募者数	オーストラリア	27人	36人		40人
		イギリス	35人	22人		35人
		韓国	募集なし	13人		15人
	受入プログラム	-	35人	40家族		
	インターナショナルフレンドシップキャンプ	-	28人	40人		
	外部国際的なイベント(スピーチコンテスト等)	-	14人	25人		
	一年海外留学	-	0人	1人		
	インターナショナルクラブメンバー	-	40人	40人		
韓国語講座	-	22人	30人			

2 中高一貫教育の強みを整理するなかで、中学1年生から高校3年生まで系統性のある指導を推進する。

基礎学力の定着・向上を図り、積極的に自己実現を図る生徒を育成する。 (中1から高3までの各到達目標を明確にする。)	放課後の学習時間	中1・2	平日 2時間 休日 3時間	平日 1.3時間 休日 2.0時間	平日 2.0時間 休日 3.0時間	教務 進路指導 学年
		中3・高1	平日 2.5時間 休日 4時間	平日 1.5時間 休日 2.4時間	平日 2.5時間 休日 4.0時間	
		高2・3	平日 3時間 休日 5時間	平日 3.0時間 休日 6.0時間	平日 4.0時間 休日 7.0時間	
	生徒の授業満足度		27.4%	79.6%	80.0%	教務
	シラバス作成の進捗管理		28年度分作成	29年度分作成	30年度分作成	
	年間授業時数(1単位当たり)		前年度+0.89時間	前年度並	前年度並	
	英検4級合格者数	中2	200人	80%	90%	国際 英語科
			210人	91%	100%	
		中3	60人	9%	25%	
			90人	76%	95%	
高1		100%				
	高2	150人	37%	70%		
高2		200人	68%	90%		
	高1	70人	17%	35%		
高2		100人	26%	45%		
	高1	15人	2%	5%		
高2		30人	4%	15%		
	旧帝大等の難関大15名、広島大30名、早慶上理50名、関関同立100名以上が合格する。	大学合格者数	旧帝大; 67%	旧帝大; 87%	達成度100%	進路指導
広島大; 40%			広島大; 23%			
早慶大; 30%			早慶大; 58%			
関関同立; 82%			関関同立; 85%			



3 「21世紀型教育改革」に対応した校内体制の構築を図る。					
21世紀型教育改革に係り、平成30(2018)年型入試改革に対応するために情報収集・研究を進める、学校体制の構築を図る。	年間計画に基づく研究授業総数	20	20	30	教務 (授業研究)
	ICT機器の整備(プロジェクタ設置教室数)	11	23	35	
教育改革に対応した取り組みを校外に発信する。	中学入試の志願者数	636	584	630	入試広報

### 8 目標達成のための手立て

学校経営目標				
	達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1	グローバル・マインドを持ち、さわやかな挨拶ができ、真剣に学びに向かい、部活動も学校行事も頑張る生徒の育成を図る。			
	基本的な生活習慣を確立する。	個人面談やLHRなどを通じて「4点固定の生活習慣」の確立を図る。	校内の共通理解のもとに、早めの登校を促し、8時30分着席完了となる習慣を定着させる。	生徒 総務 学年
	規範意識を育成し、自尊感情を育てる。	授業や登下校中のマナーを習得させる。	城北健男児としての品格を高める。	
		LHR・道徳・個人面談・三者懇談等で相談体制を確立する。	生活や進路にかかわる対話の機会を恒常的に確保する。	
	生徒が、自らの意思で城北への帰属意識を高める取組を企画・立案する。	様々な課題を抱える生徒の支援について学年会とカウンセラーとのミーティングを学期毎に実施する。	校内相談体制を整備する。	
		生徒の帰属意識を高める行事のありかたを検討する。	帰属意識を高める行事を創立記念日前後の日程で行う。	総務 生徒
	中高合同運動会の実施について条件整備を進める。	学校行事への保護者及び教職員の参加について、PTAと連携して推進する。		
	世界の動きに興味・関心を向けるとともに、積極的に特別活動に参加する。	海外短期研修・海外修学旅行のグランドデザインを検討する。	「城北グローバルデザイン」を完成する。	国際

2 中高一貫教育の強みを整理するなかで、中学1年生から高校3年生まで系統性のある指導を推進する。			
基礎学力の定着・向上を図り、積極的に自己実現を図る生徒を育成する。 (中1から高3までの各到達目標を明確にする。)	「資質・能力」の三つの柱(三要素)に基づく評価規 準を策定し、次年度の授業シラバスを年度内に完成 させる。	資質・能力のバランスの取れた、多面的評価を実 践できるシラバスを完成させる。	教務
	単位数に応じた年間標準授業時数の確保へむけて 年間行事の精選を行う。	長期休業中の補習に頼ることなく授業計画通り に授業が進む。	教務・生徒 総務
	放課後の学習時間の確保、学習場所の整備等に関 する具体的な方策を構築する。	生徒が主体的な学習をすすめられるようICT機器を 活用する学習環境や、自習室の整備等を行う。	
旧帝大等の難関大15名、広島大30名、早 慶上理50名、関関同立100名以上が合格 する。	個人面談・三者懇談・LHR等を通じて生徒個々の 学習意欲を高めるとともに、学力向上にむけた具体 的な学習方法について指導助言する。	既卒生に対しては、旧担任等を中心に、継続的な 激励を行い、進路が確定するまで支援する。	進路指導 学年
3 「21世紀型教育改革」に対応した校内体制の構築を図る。			
21世紀型教育改革に係る、平成30(2018) 年型入試改革に対応するために情報収集・ 研究を進める、学校体制の構築を図る。	校内で情報共有を行う研修会を5回以上/年実施。	3年間を見通した研修計画を完成する。	教務 教科
	アクティブラーニングやICT機器を活用した授業 を年間50回以上実施する。	生徒の授業満足度が9ポイント以上向上する。	
	ICT機器活用のための研修会を年間5回以上実施。	授業や生徒把握のためにICT機器を活用する。	
教育内容を理解する保護者と生徒を拡大 する。	発信力向上のために、HP更新頻度を1回以上/週 とし、広告内容を見直し「選択と集中」を実行。	2020年度までに中学入試における志願者を 650名にする。	入試広報
	生徒募集制度と内容を教職員へ周知徹底するた めに、研修会で募集制度について説明、中学校訪問 で環境理解を図る。		